



中学校第2学年 外国語 Unit 4 Homestay in the United States

④ 「まとめ・表現」のポイント



相手意識を持った表現活動をさせたい

自分の気持ちや考えなどを相手に正しく伝えるために、正確に英文を書かせる。

BEFORE: 前時に作成した英文を読み直す。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	形態	◎指導上の留意点
展開 42分	5 前時に整理した情報を再度読み合い、書き直す。 ○英文を読み直しましょう。相手に正しく伝わる文章になっているか、必要があれば修正を加えましょう。	グループ	◎Jamboard を開き、読み直しをさせる。

ここを探究的に変えたい！

AFTER: 誤りのあるモデル文から、生徒が気付いた誤りのポイントを全体で共有する。そのポイントを基に、互いに自分の英文を読み直す。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	形態	◎指導上の留意点
展開 42分	4 新出文法の復習をする。 ○こちらは先生が作成したメモの例です。それを基に、次のようなアドバイスカードを作りました。みんなで添削をしてみてください。	一斉	◎教師が作成したメモとアドバイスカードを提示する。 ◎新出文法の意味や使い方を再度確認し、アドバイスカードに生かせるようにする。
	<p><メモの例></p> <ol style="list-style-type: none"> 完璧な日本語を話さなくてもよい。 食事のときは箸を使わなくてもよい。 浴槽の中で体を洗ってはいけない。 <p>◆have to、not have to、must、must not でそれぞれ意味が違っていた。 ◆1の「話さなくてよい」は not を使った否定文にしないとイケない。 ◆3は禁止を表しているので、must not を使えそうだ。</p>		<p><アドバイスカードの例></p> <p>You have to speak perfect Japanese. You must not use chopsticks when you eat food. You don't have to wash yourself inside of the bathtub.</p> <p>◎前時まで生徒が Jamboard にまとめた内容を参考にして、誤りのある例文として類題を出す。 ◎アドバイスカードには誤りのある文を示し、全体で修正する。 ◎誤りのある文に対する生徒の気づきをポイントとして板書する。</p>
	5 前時に整理した情報を再度読み合い、書き直す。 ○英文を読み直しましょう。相手に正しく伝わる文章になっているか、必要があれば修正を加えましょう。	グループ	<p>まとめ・表現 </p> <p>◎Jamboard を開き、板書したポイントに沿って、読み直しをさせる。 ◎生徒自ら誤りに気づき、修正できるような声掛けをする。</p>